

大阪日日新聞

2月21日(日)
2021年(令和3年)

発行所
新日本海新聞社
大阪本社
〒100 大阪市北区中津6-7-1
電話(06)6454-1101(代表)
FAX(06)6454-1400

記事・情報提供は
編集(06)6454-7056
大阪の広告は
営業(06)6454-7058
鳥取・山陰地区の広告は
(06)6454-7055
配達・購読は
販売(06)6454-7057

朝刊1部 **100円**
さらにお得な月極め1か月 **2,050円**
(本体1,899円+消費税151円)
購読申込専用フリーダイヤル
0120-728-468

原発避難24万人が要支援

災害時体制「不十分」6割

30キロ圏の自治体 人材や移動苦慮

全国19原発の30キロ圏内では、原子力災害時に自力避難が難しい高齢者や障害者などの「避難行動要支援者」が計約24万6千人に上るとが20日、共同通信の自治体アンケートで分かった。支援する側の体制整備は6割が「不十分」と回答。人材不足や移動手段確保の難しさが理由に挙げられており、災害弱者の命をどう守るかが課題だ。(7面に関連記事)

立市が1085人。支援体制の整備状況を聞くと98自治体(61%)が「不十分」と回答。「整っていない」は46自治体(29%)にとどまった。支援する側に関し「高齢者が多く不安だ」(愛媛県八幡浜市)、「要支援者とのマッチングが完全ではない」(宮城県石巻市)との声があった。新潟県柏崎市は「ストレッチャ」などの移動手段と人員の確保」に苦慮していることを明かした。

原子力災害対策重点区域などの計160自治体に聞き、1月までに159自治体で唯一、県庁所在地に5人、石川県の北陸電力志賀原発に近い七尾市が1万

多い自治体

合計	23万5256人
人数	
1. 第1	2万8876
2. 第2	1万5425
3. 第3	1万419
4. 第4	8372
5. 第5	7871

少ない自治体

合計	1万986人
人数	
1. 第1	1757
2. 第2	1255
3. 第3	1085
4. 第4	1074
5. 第5	782

回答

G7再結束宣言

バイデン氏、協調復帰

きょうの紙面

旧暦1月10日
日刊新聞創刊の日

在宅医療に従事し奔走



在宅医療に従事し奔走する医者を追いかけたドキュメンタリー映画。

地域「博覧会の世紀」開幕

19～20世紀の博覧会をテーマにした企画展「博覧会の世紀」が開幕した。'70大阪万博の“お宝”も並ぶ。

総合「地域おこし」リーダー求む

特集 NIE「こどものページ」

社会 山に雪戻りスキーヤー笑顔

暮らし おとぎ話を新解釈し絵本に

きょうの運勢

ニュース、話題 満載

在宅医の現場リアルに

「在宅医の現実をのそかせてもらった」と話す
毛利安孝監督



ドキュメンタリー映画
「けったいな町医者」

毛利安孝監督

兵庫県尼崎市で在宅医療に従事し奔走している長尾和宏さん(62)の日常を追いかけたドキュメンタリー映画「けったいな町医者」(渋谷プロダクション配給)が26日、なんばパークスシネマほかで公開される。「在宅医療の現場をリアルに写し取った」という東大阪市出身の毛利安孝監督(52)に話を聞いた。

(映画評論家/高橋聡)

主人公は尼崎で外来医療と在宅医を兼ねる長尾クリニックの院長を務めている。「年中無休で町を飛び回る人で、その日は多忙で超ハード。1995年に大学病院の医師を辞し町医者になった。白衣の医師姿ではなく、普通のおじさんの格好で走る姿は、『けったいな町医者』という風情それは『奇妙な』『風変わりな』ということ同時に『タフな信念を持った人』という内面を秘めている」

主人公は尼崎で外来医療と在宅医を兼ねる長尾クリニックの院長を務めている。「年中無休で町を飛び回る人で、その日は多忙で超ハード。1995年に大学病院の医師を辞し町医者になった。白衣の医師姿ではなく、普通のおじさんの格好で走る姿は、『けったいな町医者』という風情それは『奇妙な』『風変わりな』ということ同時に『タフな信念を持った人』という内面を秘めている」

患者の一人、町の豆腐屋の奥さんから「息が止まったみたい」と緊急の電話が入る。そこで長尾さん

い。病院の延命治療をやめ家に帰る在宅医療を選ぶ患者もいる。「長尾さんは家に帰って普通に食べ、最後まで自宅まで」と言いたいと願う患者さんのベッドを回り『元気か』と声をかける。そして、八代亜紀の『舟唄』を口ずさみ、カラオケ自慢の自分が「独り紅白歌合戦」を催すので来なさい、元気がなるよと誘う。聞き役が上手で、またしゃべり上手。患者は笑顔を返す、それが何よりの薬となる」

尼崎で2カ月の撮影を経て、「今まで以上に人間が好きになった」と毛利監督。長尾さんの著書「痛くない死に方」「痛い在宅医」が原作の劇映画「痛くない死に方」(高橋伴明監督)が3月に公開される。長尾さん役に奥田瑛一が扮している。



「けったいな町医者」の一場面 ©「けったいな町医者」製作委員会



三つど

野村家三代による「祝祭大狂言会」が4月、大阪北区

訪田を吉S、達ルと再シャ場

るういラクどっごののシャな持EVムデヒサ